

外国人の英語対応に 困っている飲食店の方へ!

おもてなしのインバウンド対策 を取り入れませんか?

その考え
間違っています!

『どうせ外国人は東京や大阪にしかいないでしょ』『都市部から離れているから関係ない』と思ったあなた。2011年には約2,000万人が来日、2人に1人の訪日外国人観光客が東京・大阪の大都市圏以外の地方を訪問しているデータがあります。

インバウンド対策は売上アップの期待ができます!



英語って難しい...

英語で接客できる
ようになってほしい...

覚えるまでの時間が...



英語の成績が悪くても苦手でも大丈夫!

たった**3日間**で**使える英語**になるよう
サポートいたします!

コーチングスキルを使ってあなたのモチベーションをひきだし、大手にはないフレキシブルな対応でかゆいところに手が届く研修をいたします。

日本人が英語取得を難しいと感じる理由をご存知ですか?

1 苦手意識

英語の習得は一朝一夕出来るものではなく、長期の訓練が必要となることが多いと考えられています。なぜなら日本語は、言語としてのどの語族にも属さない独特の言語であり、汎ラテン語族に属する英語と言語の構成が全く違うため、**日本語を母語とする日本人には、そもそも習得が難しいと考えられています。**また近年における学習環境の多様化(不登校で学ぶ機会が稀少傾向にある人から海外留学のチャンスがある人まで)により、英語の得意不得意が二極化しています。

2 モチベーション低下

英語学習でモチベーションが低下する原因として、

①自分に合った勉強法が分からない ②正しい目標設定をしていない ③自分がどれくらい成長しているかわからないなどがあげられます。

3 独学の限界

たとえば高校生であれば、クラスメートとともに切磋琢磨したり先生に相談したりしながら勉強を進めることができます。しかし、英語を1人で勉強する人の多くは学習教材の選定からスケジュールまで一人で考える必要があります。**自己流の学習計画になってしまい成果に結びつかないまま挫折することが多くあります。**

だからこそ!

“コーチングスキル”が必要です!

裏面も
ご覧ください



**英語習得の難しさを克服するための
“独自の強み”と“技術力”で使える英語を取得できます!**

当社ではコーチング能力を駆使し、本人の意欲や熱意を高めていくアプローチをしながら、**英語が苦手な人にも「学び」の効果をあげ短期間に習熟度を上げることが出来ます。**

コーチング能力として、国際コーチ連盟の認定資格のCPC(Certified Professional Co-Active Coach)を取得しています。

この資格は日本では約600人世界中では7,100人がこの資格を持っています。(2016年3月現在)

コーチングとは、「本当の答えは自分が持っている」という考えのもと、人の内面に隠れている真の思いを引き出すコミュニケーションスキルです。

訪日外国人おもてなし英語接遇研修



主な研修内容

- ① おもてなしにおける外国人の方の期待
- ② 接遇の基本
- ③ 接客実践
- ④ 習熟度をチェックする

使える英語にするための特長

特長1 >> 依頼を受けたお店ごとに必要な接遇英会話に特化

例えば、英語圏のアメリカ文化では、外食時の食べ残しの持ち帰りが当たり前とされています。ですので、お持ち帰り出来る飲食店の場合は、持ち帰りを提案するフレーズなどが必要となります。

特長2 >> 食事、風習などに特化した英会話

欧米の方は日常的に会話を楽しむ文化があります。英語での簡単なフレーズや話してはいけないことを学びます。特に女性には年齢を聞くことはタブーとされており、気を付けなくてはなりません。

特長3 >> ジェスチャーなどにも特化した英会話

日本では、自分の顔の前で手を振るジェスチャーを通して否定を表します。この、親指が自分の顔側で「違います〜」「いいえ〜」「いません」とNoと否定を意味するジェスチャーは、アメリカでは「臭い」「におう」という意味になってしまいます。

一般的な座学講義と当社の研修方法の違い { ここが違う! }

一般的な座学の講義は、講師側の一方通行のトークが主流で、また英会話を実践に役立てるためには、地味な訓練の繰り返しになりがちで、受講生のモチベーション維持に課題を残すことが多くあります。そこで、本人のメンタル面のコンディションに適切に合わせて、コーチングを使ったコミュニケーションを行うことにより、本人の意欲や熱意を高めていくようなアプローチをとりながら、「学び」の効果をあげるのに非常に有効です。これもコーチングの資格を取得後も、10年以上に及ぶプロコーチとして実践経験があるからこそ、可能になるものです。**ゴールイメージをコーチングスキルで引き出し明確にし、また学習方法を受講生が納得してもらい、結果的により効果的に学習ができるので、短期間に学ぶことが可能です。**

研修期間

3日間〜

研修時間

1日3時間

人数

1名〜

研修費用

1人1日 20,000円〜

[研修費用の例] 3日間の研修×4名参加=240,000円 ※ご要望により研修期間は異なります

メニューの翻訳サービス (日→英) +HPの翻訳 (トリップアドバイザー登録を含む)

当社では、訪日外国人にどんな味だとイメージしてもらいたいのか、お店とのヒアリングを行い、お店のこだわりを生かした翻訳を行います。

あるステーキ店では、こだわり抜いて選んだ、希少な果汁を使ったポン酢醤油を提供していました。ポン酢は「citrus juice (柑橘系の果汁) and vinegar」などと訳しますが、肉の味付けという役割を考えると、「juice」ではなく、「sauce」を使う場合もあります。

「vinegar (ポン酢の酸っぱさと酢酸)」とこだわりの「直七」の果汁が入っていることを表す「Noshichi Sudachi juice」、それに「醤油 (soy sauce)」を入れることにし、お店のこだわりを生かした英訳としました。



料金

■メニュー表の翻訳

150文字×35円×4ページ〜

■HPの翻訳 (トリップアドバイザー登録を含む)

150文字×35円×8ページ〜

自動翻訳は 注意が必要?

例えば日本語の少し複雑な文章を大手の自動翻訳にかけ、その文章をもう一度日本語に翻訳しなおしてみると正しい日本語ではなくなることが多くあります。商品やサービスを魅力的に紹介するには正確な翻訳を作成する必要があります。

料金や受注の流れ

研修の受講人数、翻訳を行う媒体の数・文字数より、金額を算出し見積を提示いたします。受注後は、店舗内での研修と翻訳作業を同時に行います。詳しい料金等は当社HPをご覧ください。右下のQRコードを読み取って頂くとHPに繋がります。(価格はすべて税抜です)

講師プロフィール

外資系企業の勤務では、上司が外国人・同僚は留学経験者ばかり。英語が仕事で必要となり、国内でコツコツ学び続けたものの、流ちょうに話せないことに悩み続けました。その後、教育業界に転じ、学生・社会人を指導する中でいかに「相手に伝わる英語」「話せる英語」にするにはどうすればいいのか、自分自身も研鑽を続け、モノにしました。これらの経験から、英語学習は「筋トレと同じ」という持論を持ち、「英語が話せる筋力」をつける指導法を心がけています。「英語が苦手」という人にも、気持ちに寄り添いながら、コーチングでやる気を引き出して指導いたします。「話せる英語」を一緒に目指しましょう。



中森 あゆみ
Nakamori Ayumi

研修のお申し込み・お問い合わせ

A-Scat Consulting Group

TEL. 050-5372-7309

Mail. info@a-scat.com

URL. <https://a-scat.com/eigo-service/>

Blog. <https://ameblo.jp/kogomisuzigane>

研修内容に合わせたお見積もりを制作いたします

